資料１

「議員の学校」実施総括

１　事業目的：令和７年度芽室町議会活性化計画に基づき、多様な町民が議会を知り、まちづくりへの関わりを考える機会として実施し、議会の仕組みや役割、議員の仕事について知っていただくとともに、主権者教育として、次世代の議会を担う人材の発掘と育成につなげることを目的とする。

２　実施実績：令和８年４月から９月まで（全６回）

（１）１時間目　４月 20 日（月）15:00～、18:00～
（２）２時間目　５月 19 日（火）15:00～、18:00～
（３）３時間目　６月 25 日（木）15:00～、18:00～
（４）４時間目　７月 29 日（水）15:00～、18:00～
（５）５時間目　８月 21 日（金）15:00～、18:00～
（６）６時間目　９月 29 日（火）15:00～、18:00～

	15:00～		18:00～	
	受講生	議員	受講生	議員
４月 20 日（月）	３名	全議員	11 名	全議員
５月 19 日（火）	５名	全議員	10 名	全議員
６月 25 日（木）	４名	８名	９名	14 名
７月 29 日（水）	４名	８名	４名	11 名
８月 21 日（金）	３名	８名	12 名	12 名
９月 29 日（火）	３名	８名	９名	11 名

３　開催場所：芽室町役場３階

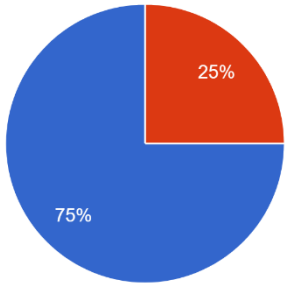
４　参加対象：芽室町議会議員を目指している方、または関心のある方
（町民以外でも参加可）申し込みは随時行い、１度の受講でも可とした。
参加申込者数　18 名（町内 15 名、町外３名）

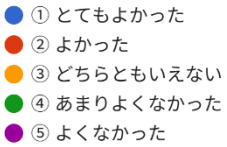
５　総　括
（１）目的は達成できたか。→　概ね達成と評価
（２）今後の課題や取り組みにつながること
・取り組みを継続してほしいとの参加者からの意見が多かった。
手法や開催頻度については今後の検討とするが、必要性と町民ニーズを確認できた。

「議員の学校」　アンケート結果
（回答：受講者４名）

令和８年 10 月 22 日集計

１.「議員の学校」に参加して、全体としてどうでしたか？
4 件の回答

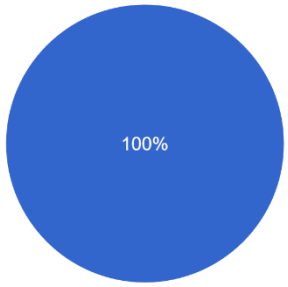


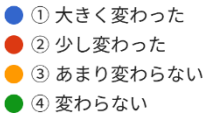


①　３名
②　１名

２．特に印象に残っている講座・テーマは何ですか？（３件の回答）
・議員のみなさんとの懇談です。放課後設定も良かったです。校長先生や教頭先生のお話から、議会の熱い思いがいつも伝わってきました。
・6 時間目の閉校式と議員になるための準備や実際
・議会の役割と権限

３.「議員の学校」に参加する前と比べて、議会や議...の仕事についてのイメージは変わりましたか？
4 件の回答

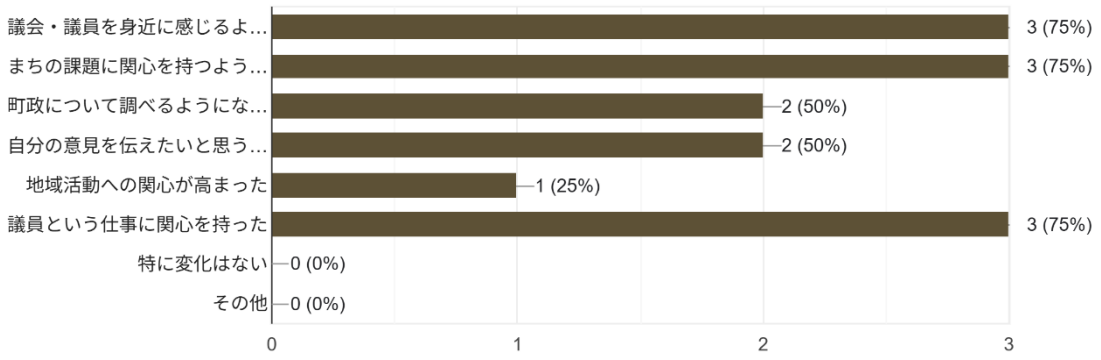




①　４名

４.「議員の学校」を通して、あなた自身にどんな変化がありましたか？　（複数選択可）

４件の回答



５．もっと聞いてみたかったテーマ、取り上げてほしかったテーマはありますか？
（３件の回答）

・やり方によっては無定量な働き方となって、年齢的や健康的にどうなのかなと感じました。議員とは言え、人であり、自らの健康や余暇、自己啓発など自らを磨くための時間も大事ではないか。だとすると、議員の仕事を定量化して行く努力も必要ではないでしょうか。ＡＩの活用も一つだと思います。今回の「議員の学校」を通して、１番強く感じたのは、「大変だなあ」に尽きるということです。尊敬と敬意と感謝です。強いてテーマを考えるとしたら「議会、議員のしごと、ＡＩができること、ＡＩではできないこと」。
・様々な研修視察のフィードバック、の具体的事例
・選挙運動と政治運動の違い

６．もっとこうしたら良い、というご意見があれば教えてください。（３件の回答）

・講義内容をコンパクトにして、グループワークの時間を確保していただけると良かったかもしれません。自ら口を開くことで、主体的な参加意識がもっと高まるものと思います。準備された議員の皆さんはきっと伝えたいことがたくさんあったと思われます。合わせて準備することはとても大変だったと思います。中でも菊池議員や渡辺議員の業務量は相当大変だったと思っています。準備いただいたことに敬意を払うとともに感謝しています。
・毎回の講座の時間的配分と、内容の密度が課題だと思いますが、生徒（町民）が理解し易い内容（お互いのキャッチボールを増やす）の検討が必要？
・議員との懇談会では、もっと他の議員の方と話がしたかった。

７．最後に、「議員の学校」への一言をお願いします。（４件の回答）

・参加できたことに感謝です。今後も続けていただきたい。

・主催する議会としても月１回が精一杯だったと思います。私も６回のうち、最後の１回は私用のため出席できずとても残念でした。そんなに簡単なものではないでしょうが、1 回の量を半分にして、10 回くらいあると嬉しく思います。(準備は大変でしょうが)。模擬質問や模擬質疑に取り組んでみたかったです。ワークショップとして、質問や質疑を考える、組み立てる経験をして、議員の方々にご指導いただく機会があれば良かったです。最後は参加者の５分間成果発表会とかもあれば良かったのではないでしょうか。教育も今やアクティブラーニングの時代ですから。それからひらかれた質問が投げかけられることが多かったように思いますが、発言者の発言も様々でまとまりがなく、深まらなかったかなあと感じました（自分も含めて)。いい意味で発言をコントロールしたり、意図を持って発言を引き出すような工夫があると意見交流は深まったのではないかと思います。参加された方はそれぞれの強い思いもあって集まっていると思います。議会モニターとはまた違った声が聴けるように思います。

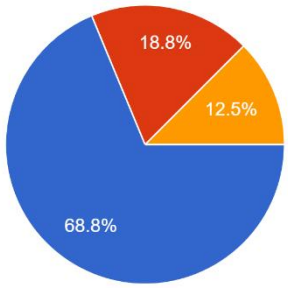
・議員の方々の「身を削る」活動が、町民に、しっかりと理解されていない。残念ですが、町民の意識を上げる、様々な試み、特に「議員の学校」は、基本となる知識が段階的に理解できる内容であると思われます。是非、継続させて頂きたいと希望いたします。

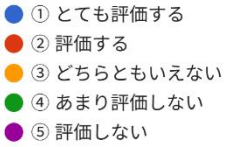
・来年の統一地方選挙に立候補するつもりで参加しましたが、大変勉強になりました。ありがとうございました。

「議員の学校」　アンケート結果
（回答：議員 16 名）

令和８年 10 月 22 日集計

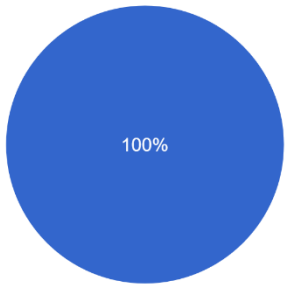
１．「議員の学校」を実施したことについて、どのように評価しますか？
16 件の回答

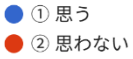




①　11 名
②　３名
③　２名

２．今回の「議員の学校」は、議会と町民との距離を縮めることにつながったと思いますか？
16 件の回答





①　16 名

３．　受講者との関わりを通して、議員として新たな気づきや学びがありましたか？
（13 件の回答）

・行政やまちづくりに参加したいと思う町民が少ない中で、議会に興味をもった貴重な方々だった。町を良くしたいと思う町民が意見交換会等を通じて多様な人にもっと広がれば良いと感じた。
・参加者において、回数を重ねていくうちに議会への理解度がどんどん上がっていくのがわかり、今後の参考になると思う
・議員の学校に参加された方はかなり意識高いと思う
・直接会話する事の大切さを改めて感じた
・議会に関する知識を学びたいという気持ちもさることながら、議員と直接話すことで議

会への関心や敷居の高さを軽減することを実感された方が多くいたように感じました。
・多様な議員のなり手実現に向けての環境創出の具体策としての「議員の学校」、多くの参加があり良かったと思います。「議員の学校」最後の授業も生徒さんから多くの質問、感想があり多くの学びがありました。校長先生、教頭先生、そして教科担任の先生お疲れ様でした。
・受講者との対話を通して、議会や議員にとって当たり前になっていることが、町民にとっては必ずしも知られていないことに改めて気づきました。一方で、回を重ねるごとに質問が具体的になり、最終回では立候補の準備や議員活動、仕事や家庭との両立など、「自分が議員になったら」という視点での質問も多く聞かれました。また、受講者から率直な疑問や意見を聞くことで、議員側も自分たちの活動や議会のあり方を改めて見つめ直す機会となりました。制度や仕組みを一方的に伝えるだけでなく、町民と議員が直接話し、お互いの考えを知ることの重要性を実感しました。今後も、こうした対話の機会を継続し、議会をより身近に感じてもらうとともに、多様な方がまちづくりや議会に関わるきっかけをつくっていくことが大切だと感じました。
・予想以上に議会、議員への関心を深める取り組みであることを確認できた。
・中年層の議会に関する考え方や真剣に問題意識を持っている事が再確認され希望を持つ事が出来た。
・議員活動をもっと端的に一目でわかる様な周知が必要。
・議員の仕事を良く理解された
・受講者からの率直な疑問や意見を聞くことで、議員にとって当たり前になっている議会の仕組みや役割を、住民の視点から捉え直すことができました。また、対話を通じて自分自身の議員としての原点や役割を改めて考える機会にもなりました。「教える場」であると同時に、議員自身が学び直す場でもあったと感じています。
・自分が出馬を決意した時を思い起こしましたが、その時は勢いだけで何も考えて無かった様に思います。今回の議員の学校、そして受講者、あらためて開催したことに意義を感じましたし受講者の意欲に感服致しました。

４.「議員の学校」を通して、議会として今後取り組むべきだと感じたことはありますか？（13 件の回答）
・議員の生の声を聴いてもらうことの重要性を感じた。意見交換会等の参考になる。
・常設的な議員と町民のふれあうスペースも良いかも。
・双方向での会話の機会をつくる。例えば、議員カフェなど。
・身近に議会や議員と関われる場をつくること（議会カフェなど）、その場を議会の公聴の場とすることなど。
・「地方自治は民主主義の学校である」という言葉があります。議会として、今後も様々な手法で住民との対話の機会を創っていく事は大切と思います。

・「議員の学校」を通して、議会の仕組みや活動を知ってもらうだけでなく、町民と議員が直接対話し、継続的に関わる機会をつくることの重要性を感じました。特に、回を重ねる中で受講者からの質問がより具体的になり、議会や議員を身近に感じてもらえたことは大きな成果だったと思います。今後は、今回の受講者とのつながりを一度きりで終わらせず、議会モニターや意見交換会など、引き続き議会に関われる機会につなげていくことが必要だと感じました。また、議員のなり手不足を考える上でも、立候補を促すことだけではなく、議会を知り、議員と話し、まちづくりに関わる人を継続的に増やしていく取組が重要だと感じました。
・議員の学校は今回のみの取り組みで終わらすことなく、今後においても持続可能な議会の構築のためにも、主権者教育の一貫で実施していくことが重要。ただ実施年については今後、議員間で協議を重ね合意形成を図っていくことが不可欠。
・個人としての問題意識や町の課題を理解してもらう工夫が必要かとも思う。
・より多くの町民が参加できる取り組みにしていくと良いと思います。
・議会だよりの工夫。
・「議員の学校」を単発の議員養成の取組で終わらせず、今後も継続的に議会と住民がつながる場として発展させていく必要があると感じました。特に、議員になる前の段階から議会や議員の役割を知り、町政に関心を持ってもらう機会を増やすことが重要だと思います。
・次は出前講座等も面白いかなと思います
・議員を目指す人にとって議会のことを学ぶ機会があることは良いことだと思う。選挙の前年、同様に取り組むことで良いと感じる。